



福田 美穂(准教授)

1 メッセージ

伝統文化を継承する、というようなことをよく耳にしますが、伝統と一口に言っても、実際何を意味しているのか、さほど明確でないと思います。

居住の歴史の研究は、わかっているようでわからない、伝統的なすまいとは何なのか、人が生きてきた空間とはどのようなものなのかを考えていこうとするものです。

2 研究テーマ

日本からみた東アジア（とくに中国）の伝統的生活空間に関する歴史的研究
日本と中国の比較による生活空間史の研究
東アジアの都市空間構成に関する歴史的研究

3 担当科目

- 住文化史Ⅰ
- 住文化史Ⅱ
- 演習Ⅰ
- 演習Ⅱ
- 学外セミナーⅢ
- 設計製図Ⅱ（共担）
- 設計製図Ⅲ（共担）
- 居住環境学概論（共担）
- 技術者倫理（共担）
- 居住文化史特論

4 主な著書

『中国古代造園史料集成—増補 哲匠録 壘山篇 秦漢-六朝』田中淡・外村中・福田美穂共編、中央公論美術出版、806頁、2003年

5 主な論文

“Repair by Disassembly”(Jap. *Kaitai Shūri*), (translated by A. Schweizer), *Authenticity in Architectural Heritage Conservation – Discourses, Opinions, South and East Asia* (N. Gutschow, K. Weiler eds.), pp. 247-260, Springer, 2017

“Building Preservation by the Mongolian Emperors during the Yuan Dynasty: Its Contemporaneity and Background,” 『師大藝術史研究論壇』第一輯, pp. 33-61, 2011

「方以智『通雅』卷三十八宮室 譯注（一）」『東方學報』第八十六冊, pp. 479-486、2011年

「中国の宮殿壁画」『平城宮第一次大極殿の復原に関する研究3 彩色・金具』奈良文化財研究所, pp. 58-67、2010年



南宋の絵画に描かれた遊牧民のテント

6 研究室活動

ゼミでは積極的に日本とそれ以外の伝統文化の空間について勉強していきます。日本以外の空間を理解することで、何が日本特有の空間であるのかを考えやすくなるからです。

そこで、当ゼミでは国立台湾師範大学大学院との学術・教育交流を積極的におこなっています。

2016年9月には、台湾の民間信仰である土地公をまつる建物の調査を、福田研ゼミ生(4年生)と師範大学大学院の院生とが合同でおこないました。福田研のゼミ生は、この調査をもとに卒論を書き上げました。このゼミ生は合同調査をするなかで、中国語での日常会話をしたいと努力し始め、帰国後は、中国語文献を読むことに、より積極的に取り組みました。

また、2017年5月には、国立台湾師範大学大学院のシンディクス教授をお迎えして特別講義「装飾的な壁建築 vs 軸組建築」(英語)をして頂き、その後双方の院生と一緒に歴史的町なみを残す奈良県の今井町を見学、ディスカッションを英語でしました。

翌月には、本学科の学部生と院生が台北に赴き、台湾師範大学大学院での授業に参加しました。日本側から参加した学生たちは、慣れない英語をとにかく駆使して、何とかディスカッションできたことは、勉強の意欲を大いに刺激したようです。

今後は、台湾と日本がお互いにより深く理解していただけるような学術・教育交流活動を継続して予定です。もちろん、日本の伝統文化の空間についても、ゼミで蓄積されてきた歴史研究の成果を引き継いで勉強していきます。



シンディクス教授による特別講義 (2017年)



台北での合同授業 (2017年)